

TOSHIBA

東芝

ルームエアコン据付説明書

室内ユニット

RAS-225GR  
RAS-255GR  
RAS-285GR

室外ユニット

RAS-225GAR  
RAS-255GAR  
RAS-285GAR

安全上のご注意

- 警告

「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
- 注意

「誤った取り扱いをすると人が傷害( 1)を負う可能性、または物的損害( 2)のみが発生する可能性があること」を示します。
- 1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼すること  
自分で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

据付工事は、R410A用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付説明書に従って確実に  
行い使用しているHFC系R410A冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかつたり、据え付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また、水漏れや感電・火災の原因になります。

据え付けは、重量に十分耐える所に確実に  
行い耐重量不足や取り付けが不完全な場合は、ユニットの落下により、ケガの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が電気設備に関する技術基準、内線規程、および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること また、電圧は製品の定格電圧と合わせる

電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。

室内外ユニットの接続電線はFケーブルを使用し、途中接続、ヨリ線や単線どうしの接続およびヨリ線の先端に単線を接続することは絶対に行わない

接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災の原因になります。

室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないようになり、カバーを確実に取り付け

カバーの取り付けが不完全な場合は、端子部の発熱・火災や感電の原因になります。

据付工事部品は、必ず付属部品または指定の部品を使用すること

使用しないこと、ユニットの落下、水漏れ、火災、感電の原因になります。

エアコンの据え付けや移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気を混入させない

空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧となり、破壊によるケガなどの原因になります。

注意

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要  
漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管すること

不確実な場合は屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

フレアナットはトルクレンチで指定の方法で締め付ける  
フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になることがあります。

電源コードの加工、途中接続、タコ足配線はしない

接触不良・絶縁不良・許容電流オーバー等により、火災、感電の原因になります。

冷媒配管について	新冷媒（R410A）用配管キットを使用しない場合	C1220タイプで、内部の付着油量40mg/10m以下、配管肉厚は0.8mmのものを使用してください。
	1. 従来の配管キットを使用する場合	2. フレアナットおよびフレア加工
	必ず、配管肉厚が0.8mmのものをご使用ください。	フレアナットはエアコン本体付属のものに交換してください。
	2. 一般の銅管を使用する場合	
	銅管はJIS H 3300「銅および銅合金無縫管」の	

1 穴あけ・据付板固定

穴あけ

配管を後取りする場合

据付板の(→)表示を利用し配管穴位置を決め、配管穴( 65mm)を屋外に向かって下り勾配になるようにあけます。(配管穴は配管収納部の結露防止のため、パテ等で完全にシールしてください。)

90mm

66mm

42mm

配管穴

お願い

メタルワイヤス、ワイヤスまたは金属板を使用している壁を貫通させるときは必ず下記の部品を使用してください。

乾旋先：東芝テクノネットワーク(株)

(1)部品名：ウォールキャップ

型 名：UWC-60N

(2)部品名：貫通スリーブ

型 名：FP-60N

据付板固定

据付板を壁に直付けする場合

1. 据付板は最上部と下部の引っ掛け部付近を必ずねじ止めてください。

2. 室内外ユニット据付図のように据付板の回りは間隔をあけ、壁内の構造材をさがして水平に取り付けます。(4カ所以上をねじで固定してください。)

3. 据付板の水平は糸に重りを垂らしてゲージに合わせて確認します。水準器を使用する場合は据付板の上側に水準器をのせて水平を確認します。

水準器をのせる範囲は図のように200mm以下にしてください。

4. 埋込ボルトを利用するときは、図のように埋込ボルト用穴を利用して固定します。(埋込ボルトの出張り寸法は15mm以下にしてください。)

引掛部(水準器は据付板上部引掛部ののせて水平を確認してください)

(水準器設置範囲)

200mm以下

7mm

66mm

据付板

配管穴

250mm

66mm

室内ユニット

おもひ

740mm

埋込ボルト

出張り15mm以下

3 接続配線の接続

配線のしかた

前面パネルをはずさず、正面から配線接続ができます。

1. 吸込グリルをはずします。

吸込グリルを止まる位置まで開き、中央部の支持アームを左側に押しながら軸をはずし、吸込グリルを手前にはずします。

2. コネクタカバーをはずします。

固定ねじをはずしてから左側の爪をはずします。

3. Fケーブルをセット背面より(A)部の穴を通して、前面に約15cm出します。

4. Fケーブルをコネクタに挿入します。

5. コネクタカバー左側の爪を引っ掛け、ねじで固定します。

6. コネクタカバーが容易に取り付くように、Fケーブルの余りは室内機と壁の間に収納します。(サービス時、セット背面側でFケーブルに余裕があるとFケーブルの引き抜きが容易にできます。)

7. 吸込グリルを前面パネルに取り付けます。

吸込グリルを前面パネル両端の軸溝に合わせ、止まる位置まで押し込みます。

吸込グリル中央上部の支持アームの軸が前面パネルに入っていることを確認してください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバー

(A)部

Fケーブル

約15cm

Fケーブルの抜き方

コネクタの突起を押して、Fケーブルを引き抜きます。

強く押す

Fケーブル(引き抜く)

Fケーブルの固定

コネクタカバー左側の爪をサブベースに引っ掛け、固定ねじで確実に固定します。

その際、Fケーブルの外被覆を必ず押さえ込むこと。被覆層を直接押さえると被覆に傷が付き、芯線が露出する恐れがあります。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。

コネクタカバーはFケーブルの固定を兼用していますので必ず取り付けてください。



# 4 配管・ドレンホースの成形 (つづき)

## お願い

配管を曲げる場合はポリシン・スプリングベンダーなどを使い、配管をつぶさないように注意してください。

補助配管(2本) Fケーブルをふくみのないよう化粧テープでしっかり巻いてください。ただし、左取り、左下取り、および左後取り配管の場合は、補助配管(2本)だけを化粧テープで巻いてください。

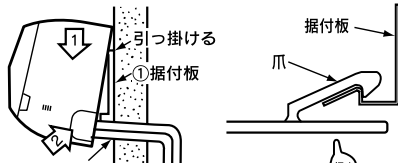
配管は、室内ユニット背面より出っ張らないこと。補助配管と接続配管の接続部分は断熱材が重ならないよう接続配管側の断熱材を切り取り接続部分をビニールテープなどでシールする。

補助配管のスリットは確実にシールすること。配管を曲げるときは、配管をつぶさないように注意してください。

補助配管の接続口に取り付けてあるナイロンキャップは再使用しないでください。

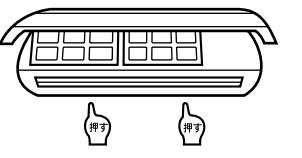
# 5 室内ユニットの取付

1. 配管を壁穴に通し、据付板上部の引掛部に室内ユニットを引っ掛けます。なお、配管貫通は、配管収納部の結露防止のためパテ等で完全にシールしてください。
2. 室内ユニットを左右に動かして引掛爪がはめ込まれていることを確かめます。
3. 室内ユニット下部を壁側に押しつけ下側の爪に引っ掛けます。室内ユニット下側を手前に引き、爪が引っ掛かっていることを確認してください。



## 埋込配管仕様

据付板よりはずすときは、前面パネル下側の「PUSH」部を上を押しながら(据付板から爪をはずす)手前に引きます。



## お願い

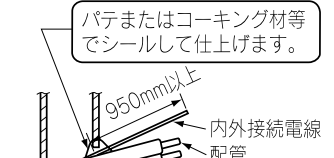
「PUSH」部を押さないで室内ユニットを無理に手前に引っ張ると前面パネルを破損することがありますのでご注意ください。

このエアコンは背面に付いた露をドレンパンに集めて排水する構造になっていますので、樋より上方に電源コード等を収納しないでください。



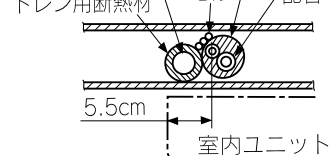
## 埋込配管仕様

埋込配管を左側にする場合、必ずドレンホースを付け替えてください。



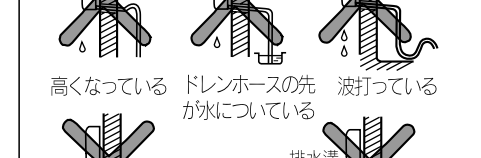
## お願い

内壁がラスメタルなどの導電体の場合は、配管および電線は塩ビ管(VP-70以上)の中を通してください。埋設するドレン用塩ビ管は30(VP-30)以上を使用してください。



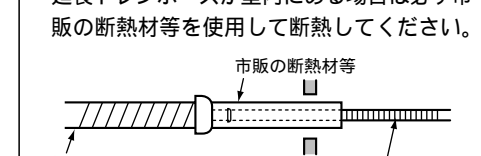
## ドレン排水について

ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。次のようなドレン排水は行わないでください。



## お願い

熱交換器の下ドレンパンに水を注ぎ、室外へ排水されることを確認してください。延長ドレンホースが室内にある場合は必ず市販の断熱材等を使用して断熱してください。



気密性の高い部屋で換気扇を使用したときなどに、排水管付近からゴゴゴ音と音が発生する場合があります。対応部品として㊦ドレンエアークットバルブ(RB-CV11)がありますので必要に応じて取り付けてください。

# 室外ユニット

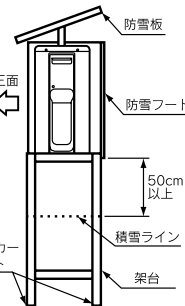
# 6 室外ユニットの設置

室外ユニットの設置は“据付場所の選定”をお読みください。

## 降雪・寒冷地域の据付について

1. ドレン排水は、付属のドレンニップルは使用しないで「タレ流し」にしてください。
2. 積雪から保護するため、「架台」に据え付け、防雪フード・防雪板を取付けてください。

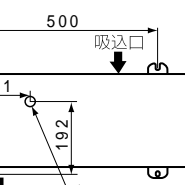
積雪ラインより50cm以上に据え付けてください。



別売「室外ユニット高置台」使用例(型名:RB-D401K1)

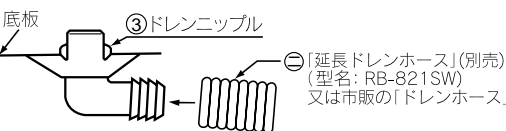
## 室外ユニット埋込ボルト取付方法及びドレン口位置 [単位: mm]

強風の当たる可能性のある場所では室外ユニットを固定してください。埋込ボルトは8または10を使用してください。



# 7 ドレン排水

室外ユニット底面の穴に付属のドレンニップルと、別売の「延長ドレンホース」または、市販の「ドレンホース」(内径16mm)を取り付け、排水処理をします。室外ユニットは水平であることを確認し、接続のドレンホースは「たるみ」がないよう下り勾配にします。



## お願い

市販の「ビニールホース」はつぶれて排水できない恐れがあるので使用しないでください。

# 8 冷媒配管の接続

## 接続配管

液側(外径)	ガス側(外径)
6.35mm	9.52mm

## フレア加工

パイプカッターで配管を切断します。バリは必ず取ってください。(ガス漏れの原因となります)フレアナットを配管に挿入後、フレア加工をします。

R410A用のフレア加工寸法は、従来のR22用とは異なります。R410A用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表の通り銅管の出し代を調整すれば使用できます。

フレア加工時の銅管出し代: B(単位: mm)

リジッド(クラッチ式)の場合

銅管外径	R410A用ツール使用時	R22	従来ツール使用時	R410A	R22
6.35	0~0.5	(同左)	1.0~1.5	0.5~1.0	
9.52	0~0.5	(同左)	1.0~1.5	0.5~1.0	

インベリアル(ウイングナット式)の場合

銅管外径	R410A	R22
6.35	1.5~2.0	1.0~1.5
9.52	1.5~2.0	1.0~1.5

フレア加工寸法: A (単位: mm)

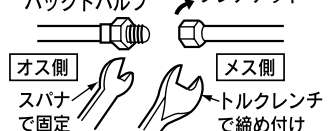
銅管外径	A	R410A用	R22用
6.35	9.1	9.0	
9.52	13.2	13.0	

従来のフレアツールを使ってR410A用のフレア加工をする場合は、R22のときより約0.5mm多めにせば規定のフレア寸法に加工できます。出し代の寸法調整は銅管ゲージを使用すると便利です。

# 9 エアパーシ

## 接続部の締付

接続配管の中心を合わせフレアナットを指先で十分締めた後、図のようにスパナで固定し、トルクレンチで締め付けます。



## お願い

トルクをかけ過ぎますと、据付条件によってはナットが割れる場合があります。

銅管外径	締付トルク
6.35mm	14~18 (1.4~1.8kgf-m)
9.52mm	33~42 (3.3~4.2kgf-m)

フレア配管接続部の締付トルク R410AはR22に比べ、圧力が約1.6倍と高くなります。従って、室内・室外の各ユニットを接続するフレア配管接続部は、トルクレンチを使用して規定の締付トルクで確実に締め付けてください。接続に不備がありますとガスリークだけでなく、冷凍サイクル故障の原因にもなります。

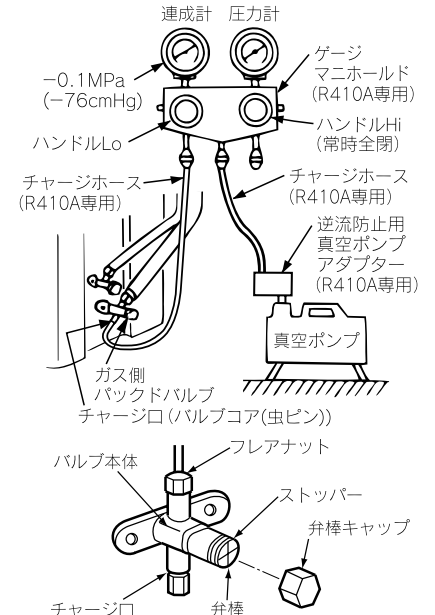
# 10 ガス漏れ検査

## 4mmの六角レンチが必要です

冷媒の補充は接続配管長10mまで不要です。

このエアコンは接続配管長15m・落差10mまで据え付け可能です。ただし、10m以上は冷媒補充が必要です。延長1m当たり20g補充してください。

## 真空ポンプ方式



エアパーシ(接続配管内の空気の排出)は、地球環境保護の観点から「真空ポンプ方式」でお願いします。地球環境保護のため、フロンガスを大気中に放出しないでください。真空ポンプ方式にてセット内の残留空気(室素等)を除去してください。空気が残留すると能力低下などをまねくことがあります。

左図の通りチャージホースを接続するマニホールドバルブは全開(4)

バルブコア(虫ピン)押し込みの突起が出ている側の接続口をセットのチャージ口に取り付ける

ハンドルLo全開

真空ポンプを運転し真空引きする(1)

ガス側バックドバルブのフレアナットを少しゆるめエアが入っていくことを確認する。(2)

再度フレアナットを締める

真空引きを10分以上(3)行い、連成計が-101kPa(-76cmHg)になっていることを確認する(1)

- 1 真空ポンプは必ず逆流防止機構付きを使用してください。また、真空ポンプ・真空ポンプアダプターおよびゲージマニホールドは、ご使用の前に各ツールに付属の説明書をお読みの上、正しくお使いください。真空ポンプは、油がオイルゲージの指定線まで入っていることを確認してください。
- 2 エアが入っていないときは、チャージホースのバルブコア押し込みの突起が出ている側が、チャージ口にしっかり接続されているか再確認してください。チャージ口の突起が押されているか確認してください。
- 3 新品の接続配管で、27ℓ/分以上の能力の真空ポンプを使用する場合に限ります。上記以外の場合は、15分以上真空引きをしてください。
- 4 チャージ口とチャージホースの間にコントロールバルブまたはチャージバルブを接続し、真空引きを行うと冷媒の放出を防止できます。ご使用前にツールの説明書をお読みの上、正しくお使いください。

ハンドルLo全開

真空ポンプ運転を止める

1~2分間そのままの状態にして連成計の針が戻らないことを確かめる

バックドバルブの弁棒を全開にする(液側を全開、次にガス側を全開)

チャージ口よりチャージホースをはずす

バックドバルブとチャージ口のキャップを確実に締める

## 冷媒の補充

配管長が10mを超えた場合は、冷媒の追加補充が必要です。

冷媒の補充量	10mを超えた長さに応じて1mあたり20g補充 最大15mまで
--------	------------------------------------

冷媒の補充には、電子はかりなどを使用して、ポンベの液相から徐々に補充してください。冷媒ポンベがサイホン管なしの場合は、ポンベを逆さにして補充してください。

## お願い

\*R410Aは混合冷媒のため、ガスで封入すると、補充冷媒の組成が変わり機器の特性が変化します。そのために必ず、液冷媒で補充してください。

## バックドバルブ操作上の注意

弁棒は、ストッパーに当たるまであけてください。それ以上に力を加える必要はありません。弁棒キャップは、トルクレンチでしっかり締め付けてください。弁棒キャップ 締付けトルク

	二面幅	締付けトルク
弁棒キャップ	H17 H19 H22	14~18N-m (1.4~1.8kgf-m) 32~43N-m (3.2~4.3kgf-m)
チャージ口	H15	9N-m (0.9kgf-m)

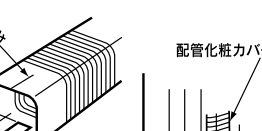
# 11 接続配線の接続

1. 室外ユニットの配線蓋を取りはずします。
2. Fケーブルの先端をコネクタの奥までしっかり差し込みます。(皮ムキ長さ19mm ㊦接続配線の接続参照)
3. Fケーブルの外被覆部を配線蓋でしっかり固定します。
4. Fケーブルは、バルブカバーが浮き上がらないように側板に沿わせてください。
5. 未使用のコードはビニールテープ等で絶縁処理してください。



## 配管接続口のカバーについて

市販の配管化粧カバーを配管接続口に取り付けますと、きれいな仕上がりとなりますので、ご利用ください。



幹旋先:  
東芝テクノネットワーク(株)  
部品名: フリーコーナー  
型番: SF-66-500  
SF-77-500  
SF-66-1000S  
SF-77-1000

ドレンホースの取り出しのため、上図のように配管化粧カバーの片側を、ハサミ等で切り欠きます。

# 12 アース工事

このエアコンは必ずアース工事をしてください。

アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って実施してください。万一の感電事故を防止するほかに、このエアコンは室外ユニットに周波数変換装置(インバーター)を内蔵していますので、高周波による室外ユニット表面などへの帯電やノイズを吸収するためにもアースが必要です。アースがない場合、帯電した室外ユニット表面に手を触れると電気を感じることがあります。

接地の基準 接地の基準はエアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

電源の条件	エアコンの種類	エアコンの設置場所	水気のある場所に設置する場合	湿気のある場所に設置する場合	乾燥した場所に設置する場合
対地電圧が150V以下の場合	100Vの機種(含単相3線式200Vの機種)			D種接地工事が必要です。(注㉔)	D種接地工事は法的には除外されていますが安全のため接地工事をしてください。(注㉕)
対地電圧が150Vを超える場合	3相200Vの機種(含単相2線式200Vの機種)		漏電しゃ断器を取り付けさらにD種接地工事が必要です。(注㉔)		

室外または室内ユニットのどちらか一方のアース端子より、接地工事を行ってください。

## 重要事項

次のようなものにアース線を接続すると危険ですので、絶対に行わないでください。

水道管・ガス管・避雷針や電話のアース線

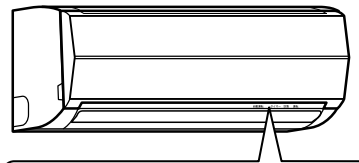
D種接地工事について(注㉔)  
接地工事は電気工事士の方が行ってください。接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してください。乾燥した場所に設置する場合(注㉕)  
接地抵抗は100Ω以下になるようにしてください。最悪でも250Ω以下であることを確認してください。

## お願い

アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。漏電ブレーカが働く場合は衝撃波不動作形の漏電ブレーカに交換してください。漏電警報器が働く場合は漏電警報器の設定を変更してください。

# 13 点検・試運転

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認します。
2. 自動運転ボタンを10秒以上押しと「ピッ」と音が鳴り、強制冷房運転になります。約3分後に運転を開始します。運転を始めないときは、配線を再確認してください。
3. 試運転を停止するときは、自動運転ボタンをもう一度押します。
4. リモコンのボタンを押して、リモコンでも運転することを確認します。



空清リセット クリーンング お手入れ  
自動運転 タイマー 空清 運転  
自動運転ボタン

3分間再起動防止タイマーについて  
エアコンを起動するときや運転を切り換えたときは、約3分間運転を始めません。これは本体保護のため故障ではありません。

# ルームエアコン据付工事点検チェック項目

## チェック欄

- ☐ 据付場所の強度
- ☐ 配管接続部の締め付け、ガス漏れ
- ☐ 接続配線の結線
- ☐ 配管の断熱
- ☐ ドレン排水
- ☐ アース線の接続
- ☐ 試運転、取扱説明